

サイレンススズカ

生年・性

1994年 牡

厩舎

橋田満 関西

評価 2 A

影響度 (12)(2)(0)(4)

馬主

永井啓式

生産者

稲原牧場

種牡馬名(父)	繁殖牝馬名(母)	B・M・S(母の父)
サンデーサイレンス	ワキア	M i s w a k i

《プロフィール》

St. Simonは、母内9代目までには存在しないが、Turn-toの4×5の中間断絶に血を集合・結合している様子が読み取れる。通常はつながりにくい血であるBlue Larkspurも、Sunstarを通じTurn-toと結合を果たし、Pharamond = Sickleの5×7・7・8・8の系列ぐるみもSeleneを通じてHyperion系とつながり、血の結合をスムーズにしている。この結合のよさと、サンデーの母方の血のきめ細かさなどが、当馬の長所。それに加え、父内Halo、Cosmic Bomb、母方Mr. Prospector、Never Bend、Tudor Minstrelなどのスピードの裏づけであるLady Josephine、Mumtaz Mahal、The Tetrarchなどもクロスとなっている。そして、そのスピードを支えるスタミナも、Buckpasserなどから補給されているので、当馬の持つ潜在的なスピードは相当なものだと判断できる。従って、新馬戦での圧勝劇も十分に納得でき、一流マイラーの血統構成といえる。問題は、10F以上の距離に対する適応性だが、イシノサンデーやタヤスツヨシとの比較では、当馬のほうに分がある。しかし、展開やペースなどの条件が付き、場合によっては、割り引く必要がある。

《クロス馬チェック項目8》

主導勢力	Turn-to、Pharamond = Sickle
位置・配置	
結合度	Turn-toへの結合力がよい(Cigarと共通点あり)
弱点・欠陥	
影響度バランス	BMSは・も、Miswakiのキーホースは生き、主導と連動
種類・数	65
質・傾向	
スピード/スタミナ	スピード優位
日本向適性	
成長力	

《距離適性》

	5F	6~7F	8F	9F	10F	11F	12F	15F	16F
芝									
ダート									

=とくによい =よい =ふつう =やや悪い x=悪い

19970201